

プールの授業準備中、塩素ガス発生 教員 6 人が軽傷

2019 年 6 月 17 日 19 時 32 分

東京都葛飾区は 17 日、同区立上平井小学校（西新小岩 4 丁目）でプールの授業の準備中、教員が誤って塩素ガスを発生させる事案があったと発表した。

区によると、同日午前 7 時半ごろ、プールの水を殺菌するために濾過（ろか）器に塩素を入れるはずが、教員が誤って、プールの水を中和するための無水炭酸ナトリウムを投入したという。ミスに気付いてすぐに塩素を入れたところ、化学反応が起きて塩素ガスが発生したという。この教員と現場にかけつけた別の教員の計 6 人が目や鼻に痛みを訴える軽傷を負った。児童は校舎内にいて無事だった。

消防が駆けつけ、濾過装置のある機械室の空気を入れ替えて塩素濃度を下げ、約 3 時間後の午前 10 時 15 分に塩素ガスの発生が止まったことを確認したという。

同校では、この日からプールの授業が始まる予定だった。